



聴感アンケートサービスのご案内

Purpose

音で 世界中の人の 暮らしを 豊かにする

音は、音声、音楽、ことば、表現、騒音であり、人と人、人と自然、人と人工物とに介在するコミュニケーションメディアです。
Sound Oneは、身の周りの様々な音から新しい価値を発見し、より豊かな音環境づくりに貢献します。





会社概要

2022年8月 モノからコトへ。

計測機器の小野測器から、新たに音のWebサービスを提供するため、株式会社Sound Oneを設立しました。

私たちの身のまわりにある音は、心地よかったり、不快であったりと個々の感性に響きます。

それは時として良き記憶を呼び覚まし、また未来を想像させてくれます。

そんな音の感性と物理をひとつにつなぐ音のプラットフォームを手軽にお届けしたい。

計測機器の小野測器グループ企業としての確かな技術と、変化をおそれずチャレンジする企業理念のもとに皆様ひとりひとりの快適な音環境創造にむけてお手伝いをしたい。

それが私たちSound Oneの思いです。

会社名	株式会社 Sound One	
所在地	神奈川県横浜市緑区白山1丁目16-1 小野測器 横浜テクニカルセンター	
設立	2022年8月30日	
事業内容	Webアプリケーション及び Webコンテンツの提供	
資本金	9,000万円	
役員	取締役社長	葛西 功
	取締役	後藤 泰宏
	取締役	石田 康二
	監査役	土屋 喜久郎

親会社 株式会社小野測器

ONOSOKKI

音の印象・評価の課題

音は今、あらゆるシーンで重要視されています。

しかし、**音の印象や評価は主観的**であり、数値や計算では捉えきれない複雑さがあります。



生活家電の操作音やお知らせ音は、使いやすさや快適性に欠かせません。



食品の咀嚼音は、商品の魅力を高める重要な要素です。



自動車の加速音や警報音、操作音は、快適性や安全性に大きく関わってきます。



医療機器の音は、患者の心理的影響にも配慮が必要です。



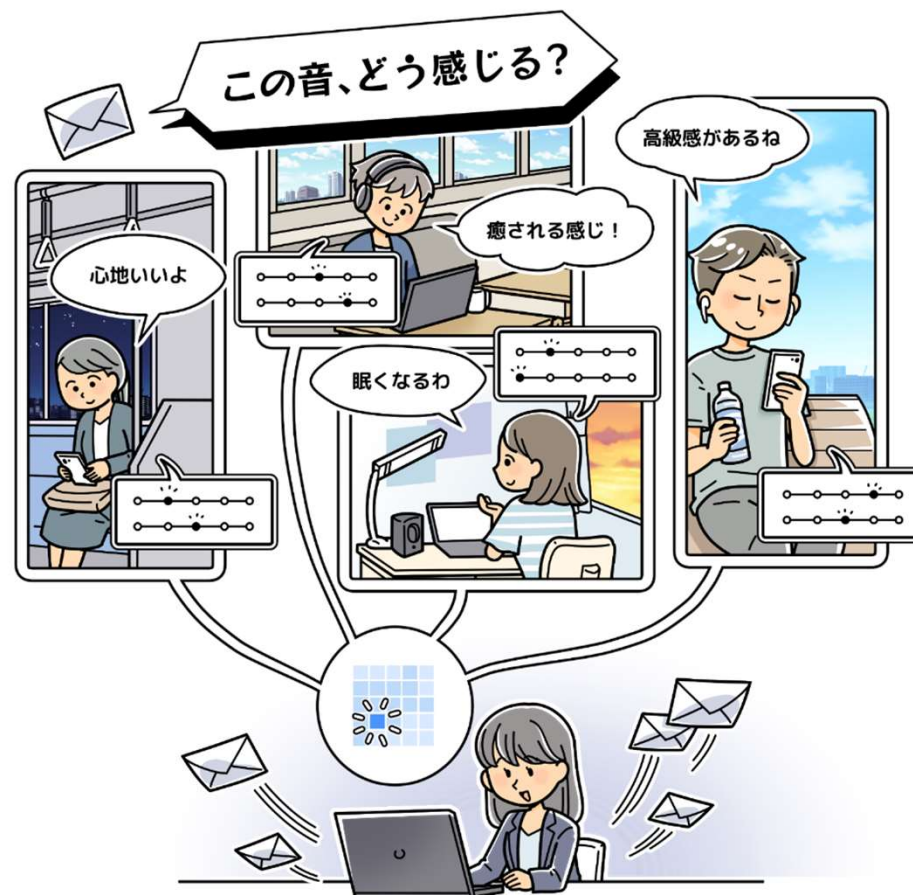
Sound One で手軽に音の感性評価を！

「ユーザーがこの音を聴いたら、どう感じるんだろう？」

音に携わる人なら誰もが気になる、この疑問を解消するWebアプリが **Sound One** です。

評価したい音をWeb配信して、
多くの人から印象を集めることができます。

集められた音の印象は、物理量と紐づけて、
コンセプトに合ったサウンドデザイン、
異音の判断と要因となる周波数帯域の特定に
活用できます。



Sound One の流れ

Recorder 音を録る

映像や収録場所も
同時に記録できます



App Storeで
無料配信中！

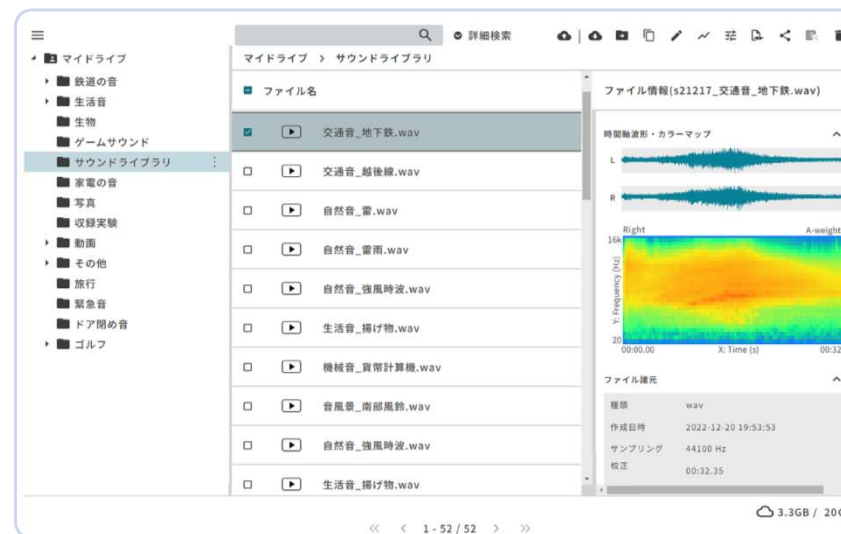


スマホで手軽に音を収録できます。時間波形やFFT解析で周波数をモニタしながら、本格的な収録ができます。

収録したデータはワンクリックで
Sound Oneにアップロードできます



Drive 音を管理する



スマホで収録した音、PCからアップロードした音や写真、動画ファイルを一覧で管理できます。

波形
表示

地図
表示

ファイル
共有

ファイル
連結

レベル
調整

Sound One の流れ

Editor 音を編集する



時間の範囲を選択して、聴感アンケートに使用する部分だけの**波形を抽出**したり、**グライコで音色を調整**したりすることができます。

印象に影響を与える帯域
をグライコで調整します

音色
調整

印象
評価

どの帯域が印象に影響を
与えているかを分析します

Audio Test 音の印象を集める

AIでアシスト



01 作成



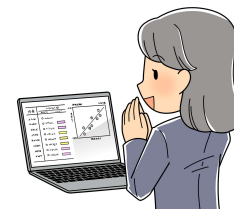
03 回答

02 配信



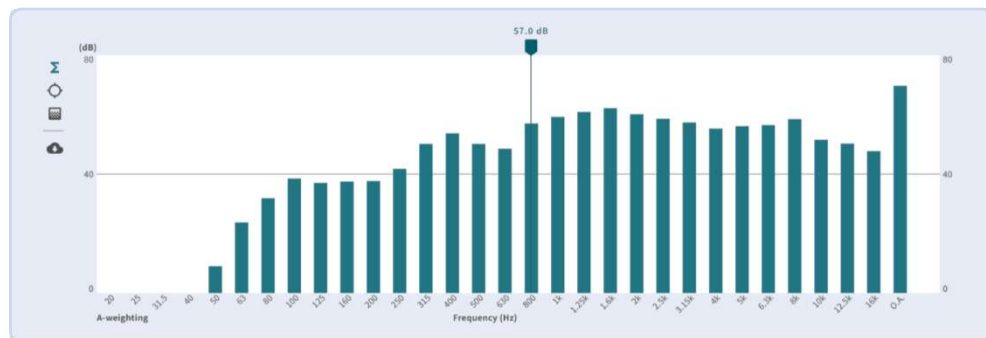
04 集計・分析

テストをメールで配信したり、URLを共有することで、音の印象を手軽にアンケートすることができます。



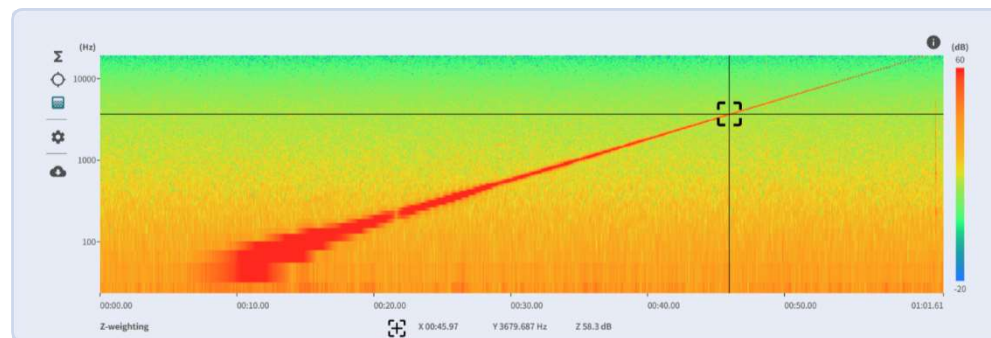
音の解析機能のラインナップ

1/3オクターブ解析



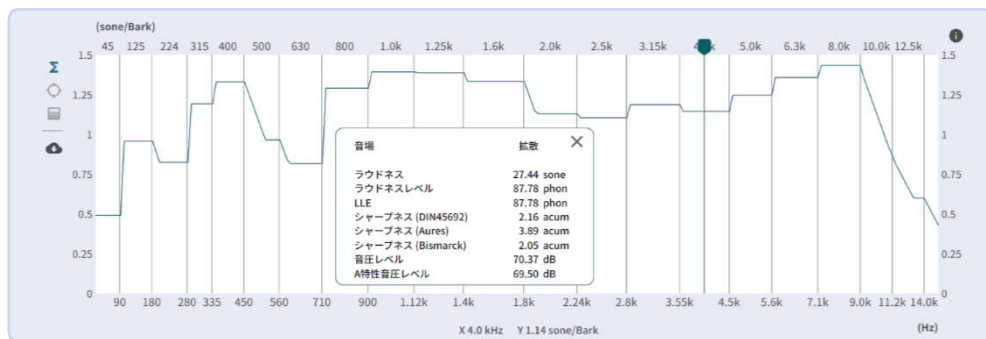
人の聴覚特性に合わせて周波数を帯域ごとに解析します。問題となる周波数成分を捉えるのに有用です。

FFT解析



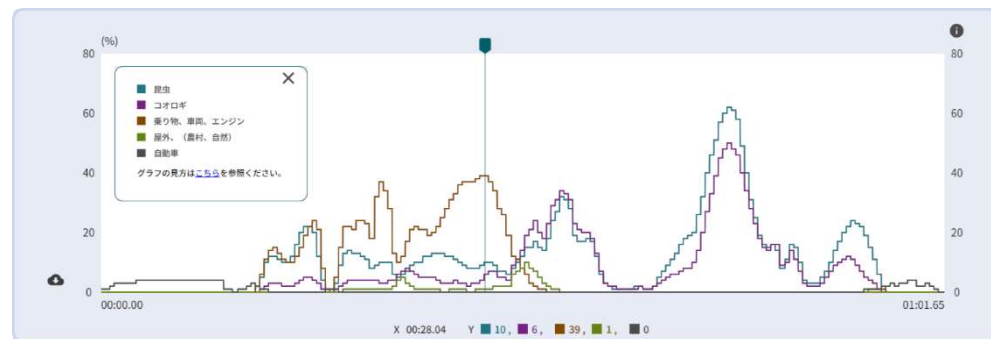
音に含まれる微細な成分や、特定の周波数帯域に集中する音の時間変化も、明確に把握できます。（折れ線グラフでも表示できます）

音質評価



ISO 532-1に基づくラウドネス計算により、人間の聴覚に近い形で音質を評価できます。シャープネスも同時に算出します。

AI音分類(β版)



AIで音を分類し、確率が高いものを5つ抽出して表示します。不要な音の混入の確認や、環境音の成分把握に便利です。

回答から分析まで、シームレスに完結する聴感アンケート

選べる回答方式



直感的に5段階で回答する**シリアル方式**と、印象に基づいて空間上にマーカーを自由に配置する**パラレル方式**から選択できます。

動画を使ったアンケート



映像も再生できる聴感アンケート機能を搭載してます。音と映像の組み合わせによる印象を分析できます。

直感的な回答結果表示



収集した回答は即時に集計され、**二軸グリッドで視覚化**。フィルタを使って、性別や年代ごとの回答傾向も簡単に比較できます。さらにオリジナルアンケートを作り、その回答でのフィルタリングも可能です。

感性と物理をつなぐ分析機能



音の印象に影響する周波数帯域を算出し、1/3オクターブバンドレベルや音質評価パラメータと聴感アンケートの相関を数値や散布図で示します。

聴感アンケート受託サービス

印象を評価したい音源がございましたら、今すぐお問い合わせください。

聴感アンケートを**まるごとおまかせ**、あらゆるご要望に柔軟に対応いたします。

- パネル(音を聴いて回答する被験者)を数百人規模で集めたい
- 特定の属性(例:車を所有、〇〇に興味がある)を満たすパネルを集めたい
- 聴いた印象に影響している音の特徴を知りたい

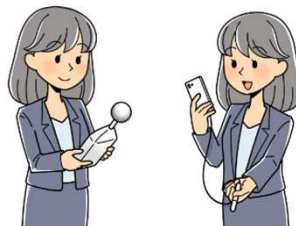
無料で
聴感アンケートを
お試しできます

① ご相談ください



音響の専門家が、
ご要望に合わせた**最適な聴感
アンケート**をご提案します。

② 音源収録をサポート



必要な**音の収録**を全面的に
サポート。デジタル音なら
音作りからお手伝いします。

③ パネルを集めてアンケート



被験者を迅速に集め、**大規模
なアンケート**をスムーズに
実施します。

④ 結果を分析し、レポート作成



回答結果を丁寧に**分析**し、
改善・開発のための**レポート**
を**提供**します。

海外市場での成功を支える聴感アンケートサービス

Sound Oneの「聴感アンケート受託サービス」は**海外市場に対応**し、現地のリアルな反応を収集。現地の音の好みを反映したデザインで、製品の競争力向上をサポートします。



現在、聴感アンケートを対応可能な国と地域は以下の18カ国です。

北米・南米地域 アメリカ、カナダ、メキシコ、ブラジル

アジア地域 中国、香港、インド、インドネシア、日本、マレーシア、フィリピン、シンガポール、韓国、台湾、タイ、ベトナム

オセアニア地域 オーストラリア、ニュージーランド

この他にも、対応できる国もございますので、ご要望の国がありましたら、お問い合わせください。



サウンドデザイン支援サービス

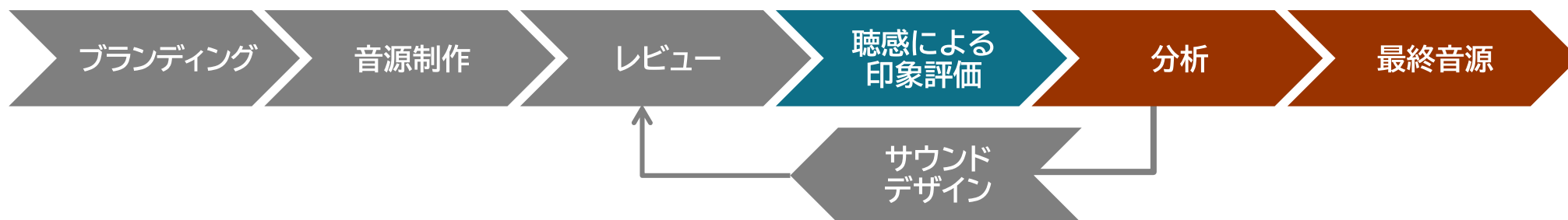


聴感から最適な音をつくる

音のデザインは、製品やサービスの感動体験を左右します。
ユーザーの印象を的確に捉え、「こう感じて欲しい」という方向性に
基づいた**音作り**を**Sound One**が**サポート**します。



- 🎧 起動音で製品の個性やブランドイメージを印象づけたい
- 🎧 ゲームサウンドでワクワク感、没入感(イマーシブ)を感じさせたい
- 🎧 アミューズメント機器のサウンドエフェクトで「興奮や期待感を高める」



サウンドクリエイターによる音源制作



サウンド分析 ブランディング



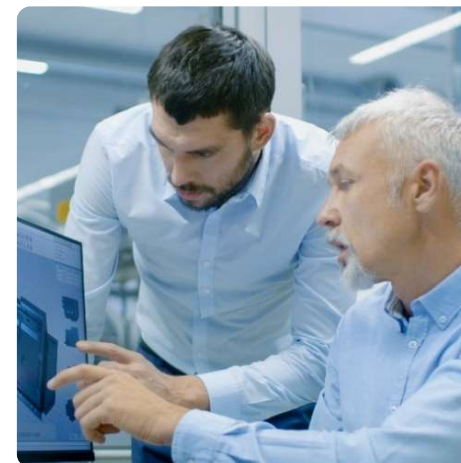
聴感アンケート 主観評価



サウンドデザイン支援サービス

🔧 音から最適なカタチをつくる

音は製品やサービスの魅力を高める重要な要素です。従来は不快な音の除去が目的でしたが、電動化により暗騒音が低減し、新たな音が問題となることが増えています。現在では、音を「取り除く」から「心地良く創りかえる」**サウンドデザイン**が求められています。



- 🔧 ドアやリアハッチの開閉音でモデルの個性や車格を感じさせたい
- 🔧 ゴルフクラブやバットの打音で爽快感や飛距離を感じさせたい
- 🔧 釣り竿の針を投げるキャスト音、リールの巻き取り音で製品の個性を感じさせたい



メカ機構を中心とした複合領域計算



Sound One

聴感アンケート 主観評価



3Dシミュレーションによる最適化設計

Sound One の活用事例

活用例 1

躍動感のある加速音をデザイン

EVでは、デジタル音でスポーティーさや躍動感を表現する必要があります。

どのような音が世界の市場で好まれるかを把握するため、海外向けに聴感アンケートを実施し、グローバルに受け入れられる音のデザインを実現しました。



活用例 2

異音を特定し、改善策を案出

発売中の電子レンジに「異音ができる」とのクレームが発生。

Sound Oneを活用して問題の音を特定し、改善すべき音の周波数帯域を把握。消費者が「異音ではない」と感じる音を目標に設計変更を実施しました。



Sound One の活用事例

活用例 3

ゴルフのドライバーの 打音の評価

各社のゴルフドライバーの打音を収録し、聴感アンケートを実施しました。

プレイヤーが心地よく感じる打音の特徴を分析し、その結果を製品開発のインプットとして活用しました。これにより、感性に基づいたドライバー設計を実現しました。

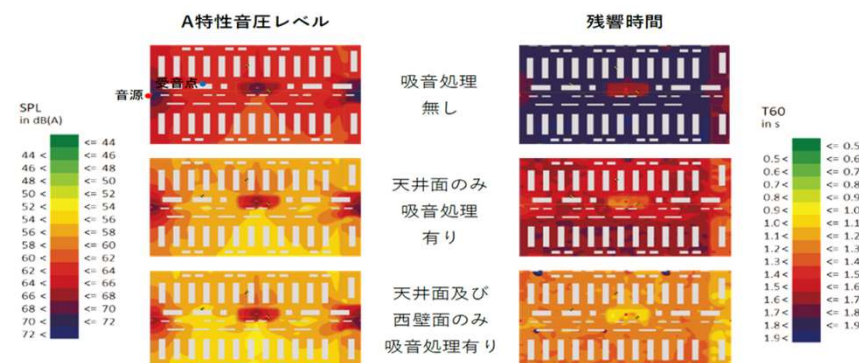


活用例 4

SoundPLANnoise × Sound One で室内音響評価を強化

SoundPLANnoiseにより、オフィスやイベントホールの残響時間や音声明瞭度(STI)を計算し、音の響きを可聴化。

作成した音源をSound Oneで配信し、人が聴いた印象評価の実施。短時間で多くの回答を集め、設計段階で音評価を行いました。



室内音響シミュレーション



Sound One と共に学ぶ音の世界

音の専門家の雑談

音の専門家が集うラボでの雑談をポッドキャストで配信中。
Sound Oneの石田康二がゲストと共に、気になる音ネタを
真面目にゆるく語り合っています。



Spotify Podcast



Photo : Eito Takahashi(TWOTONE)

研究・講義にSound Oneを活用しよう！

学生の皆さまは無料で利用でき、教員の方の講義利用もサポートしています。
すでに多くの大学で活用されていますので、お気軽にお問い合わせください。



Sound Oneの**お問い合わせ**はこちらまで

<https://soundone.jp>

support@sound-one.onosokki.co.jp



代理店・販売店